

図 15 人口 1000 人あたり救急搬送診療件数（首都圏、平成 23 年度）

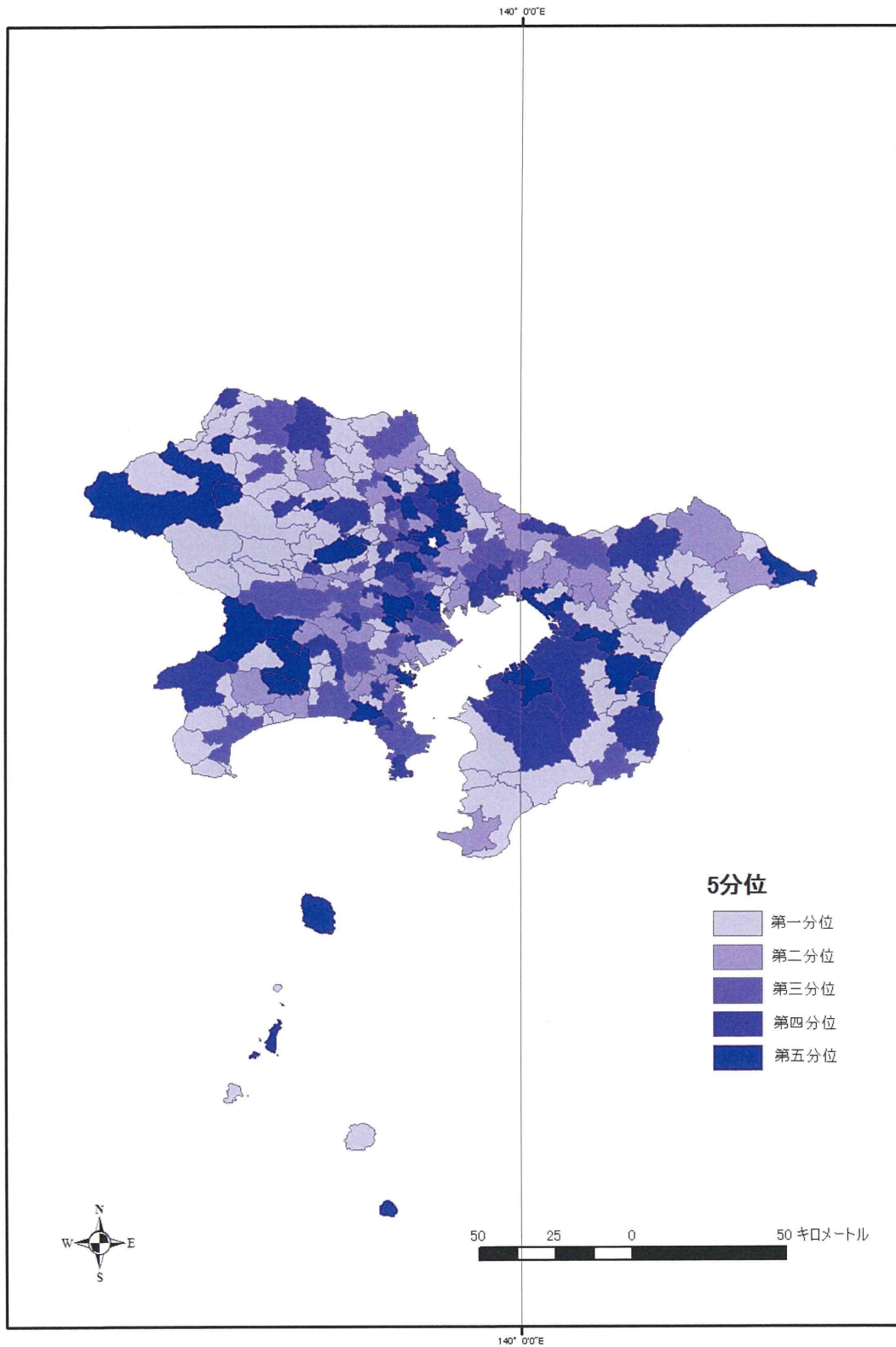


図 16 75歳以上人口1000人あたり救急搬送診療件数（首都圏、平成23年度）

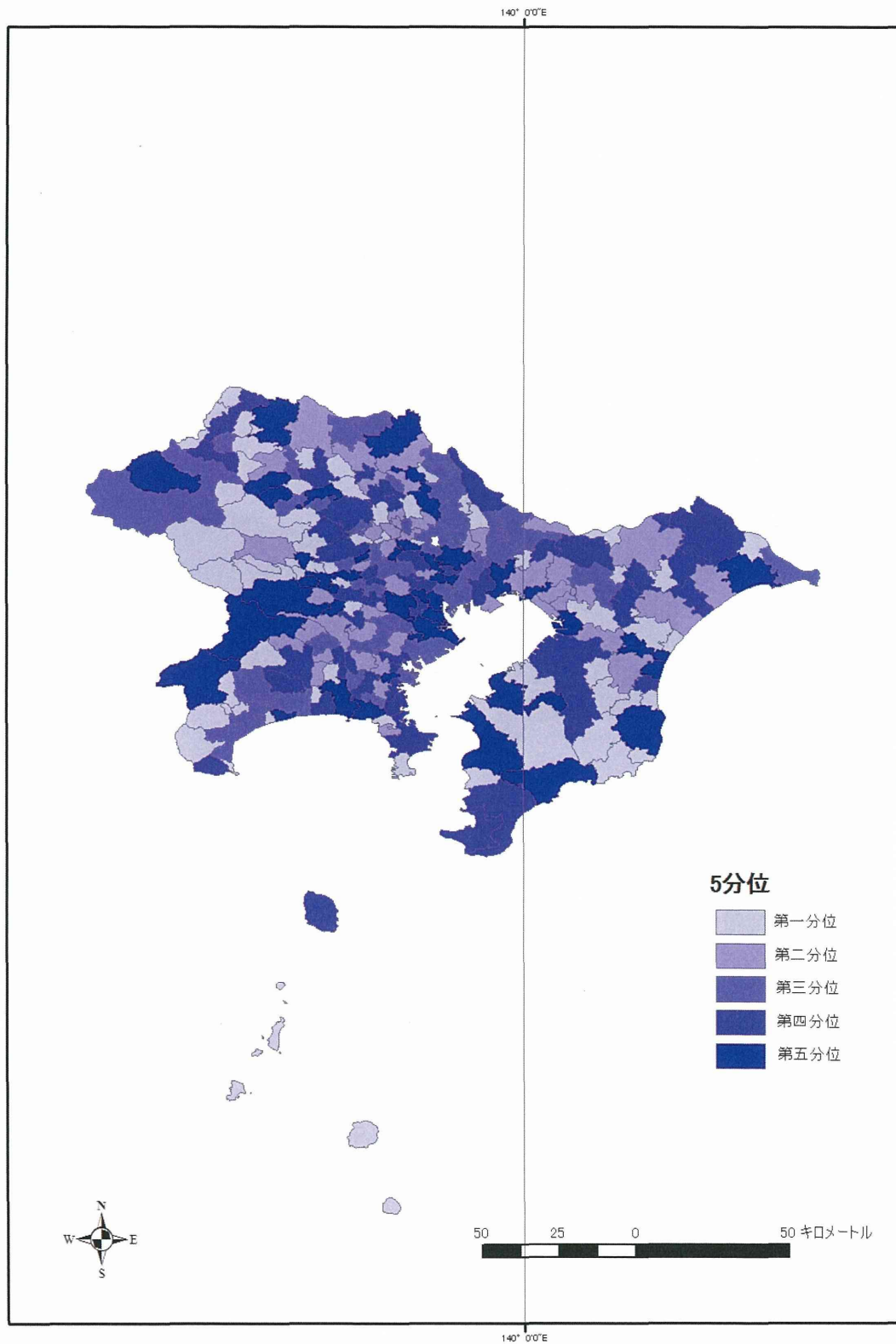


図 17 人口 1000 人あたり在宅患者訪問看護・指導件数（首都圏、平成 23 年度）

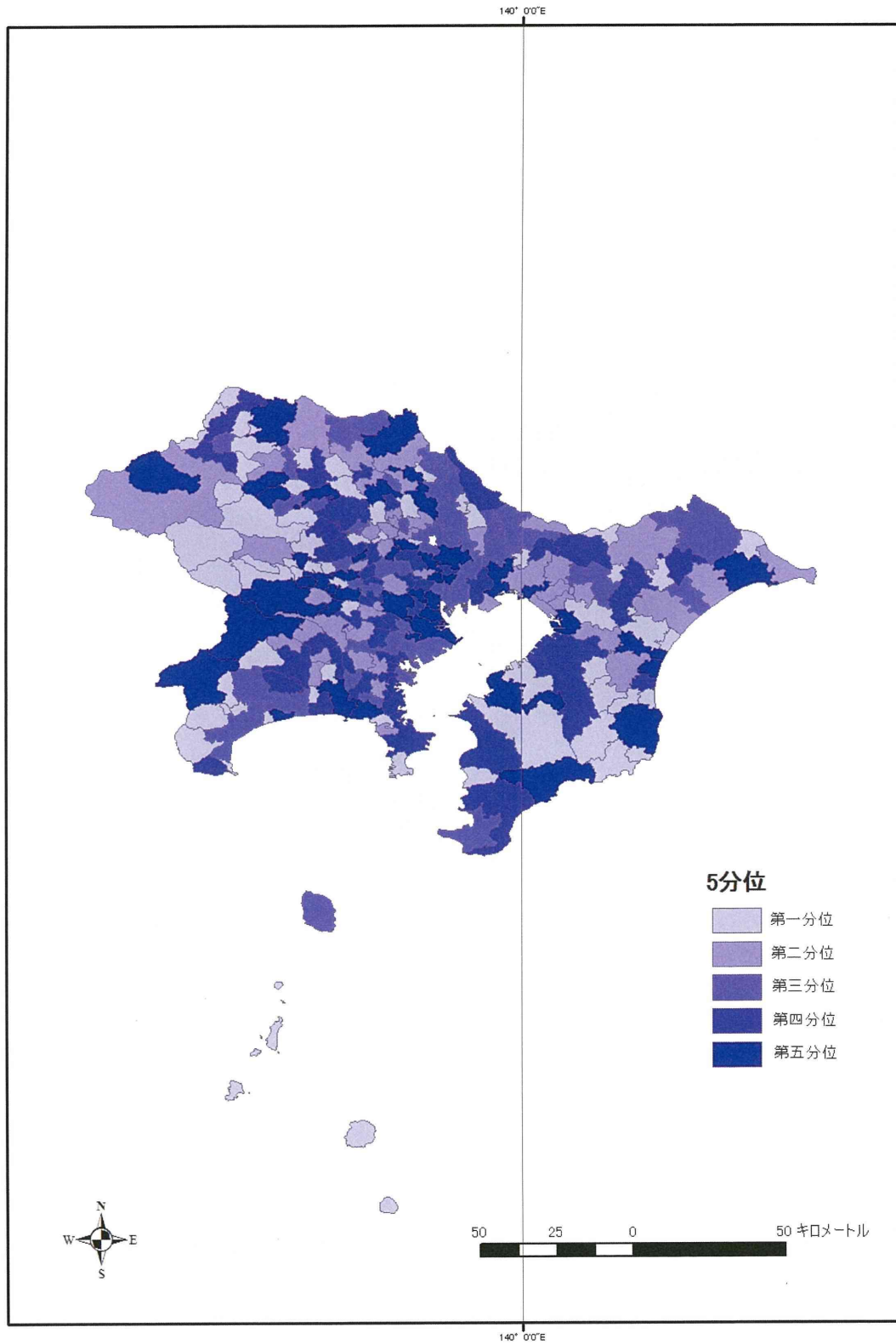


図 18 75 歳以上人口 1000 人あたり在宅患者訪問看護・指導件数（首都圏、平成 23 年度）

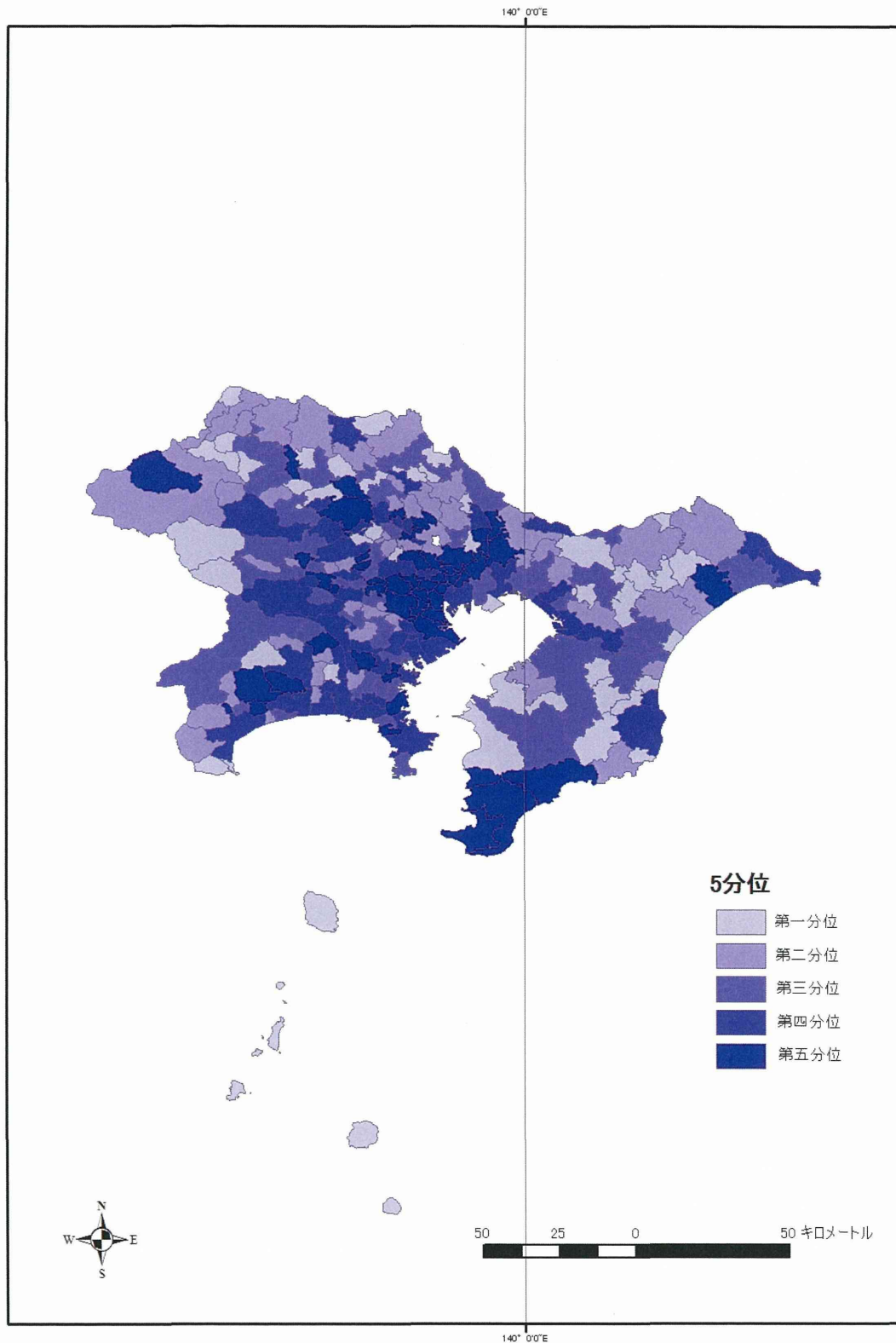


図 19 人口 1000 人あたり訪問看護ステーションへの指示書の交付件数（首都圏、平成 23 年度）

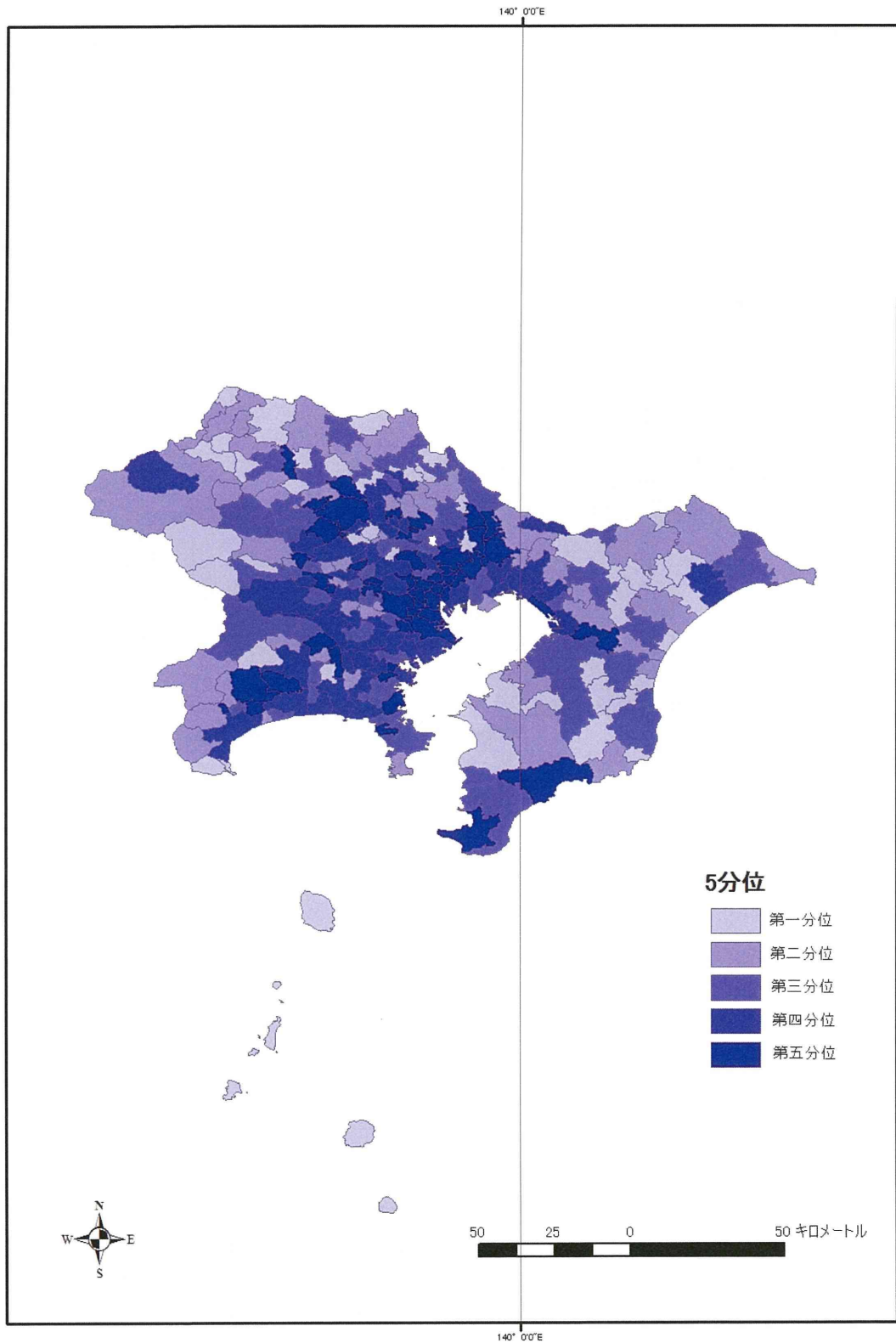


図 20 75歳以上人口1000人あたり訪問看護ステーションへの指示書の交付件数(首都圏、平成23年度)

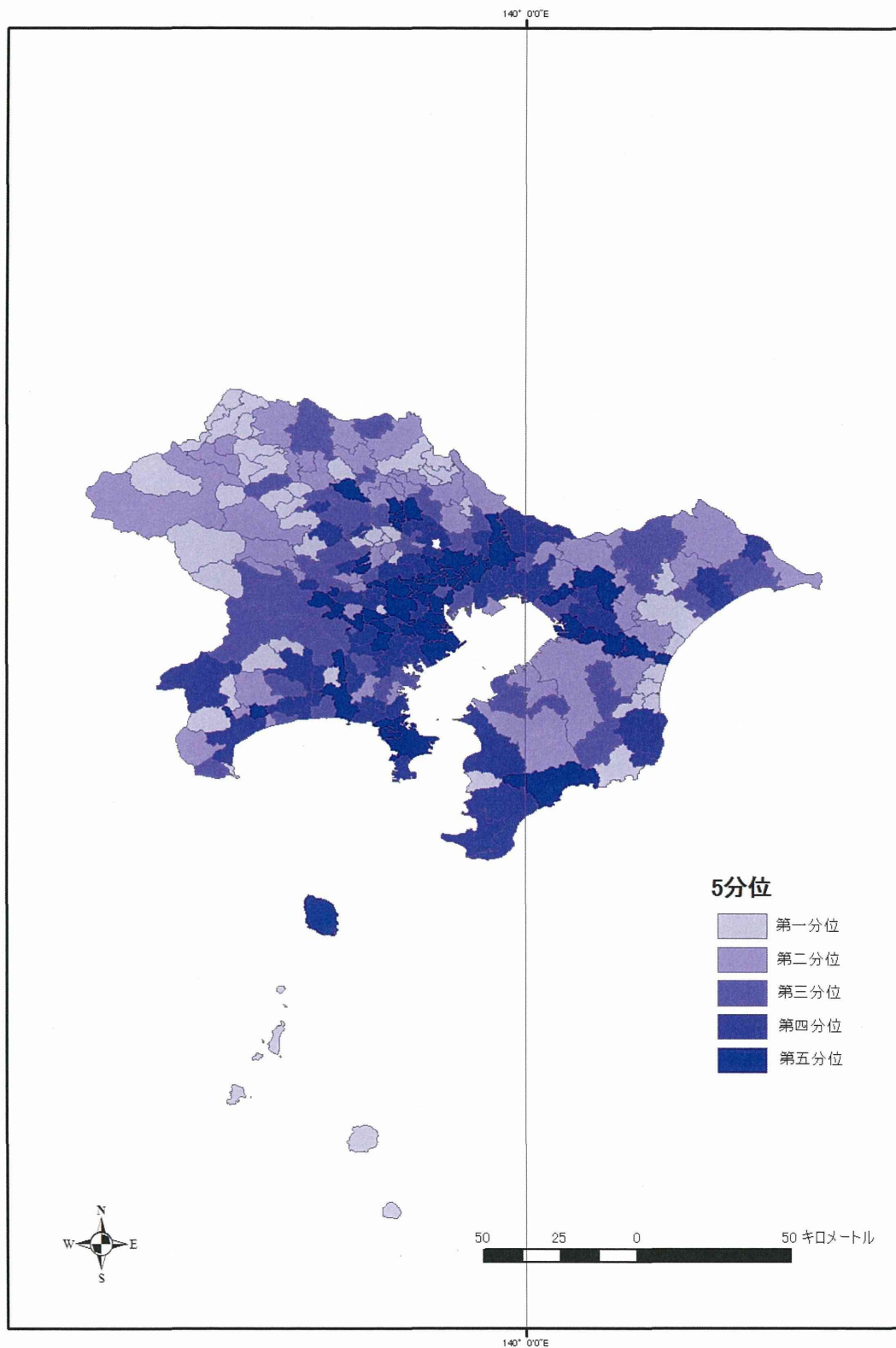


図 21 人口 1000 人あたり居宅療養管理指導件数（首都圏、平成 23 年度）

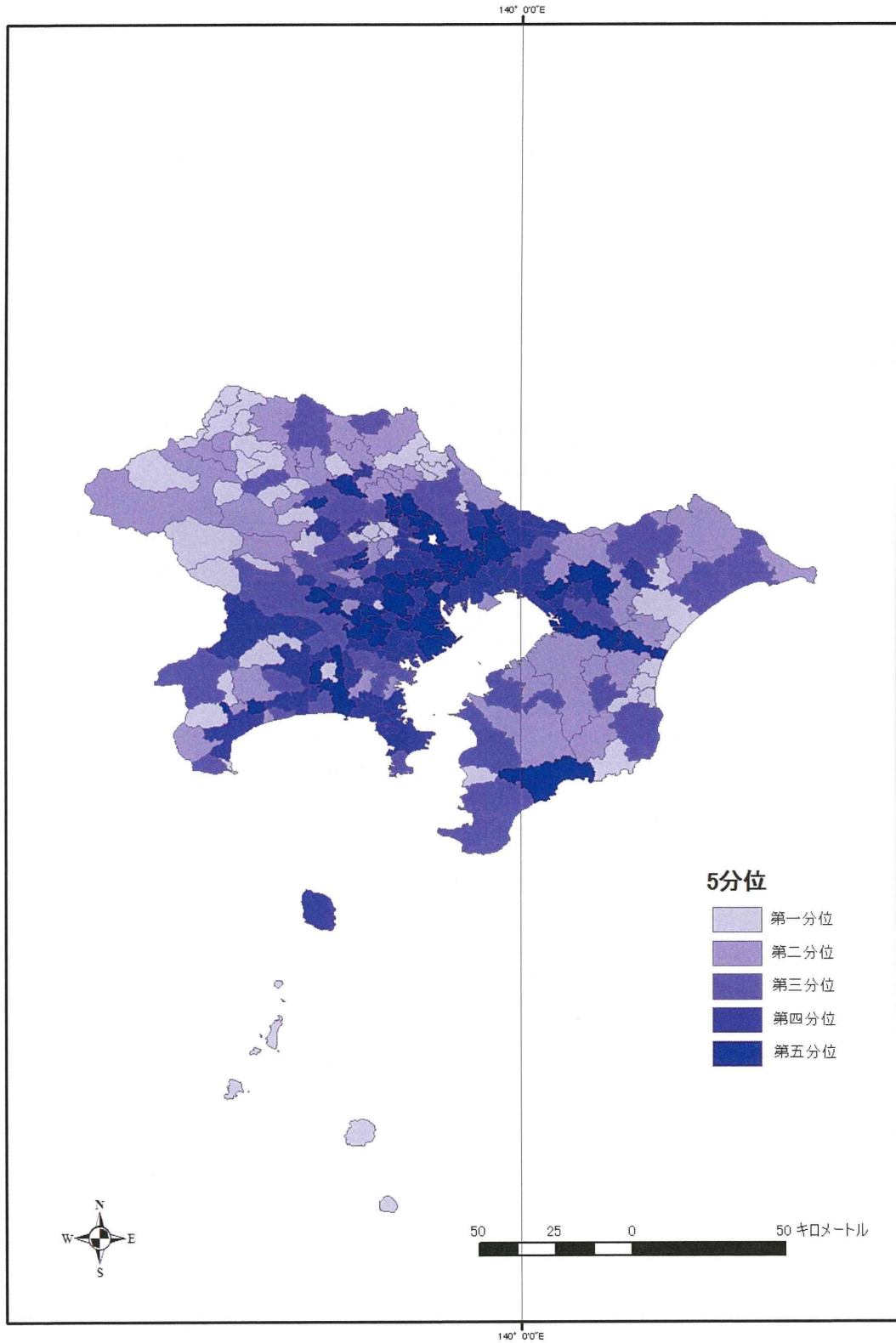


図 22 75 歳以上人口 1000 人あたり居宅療養管理指導件数（首都圏、平成 23 年度）

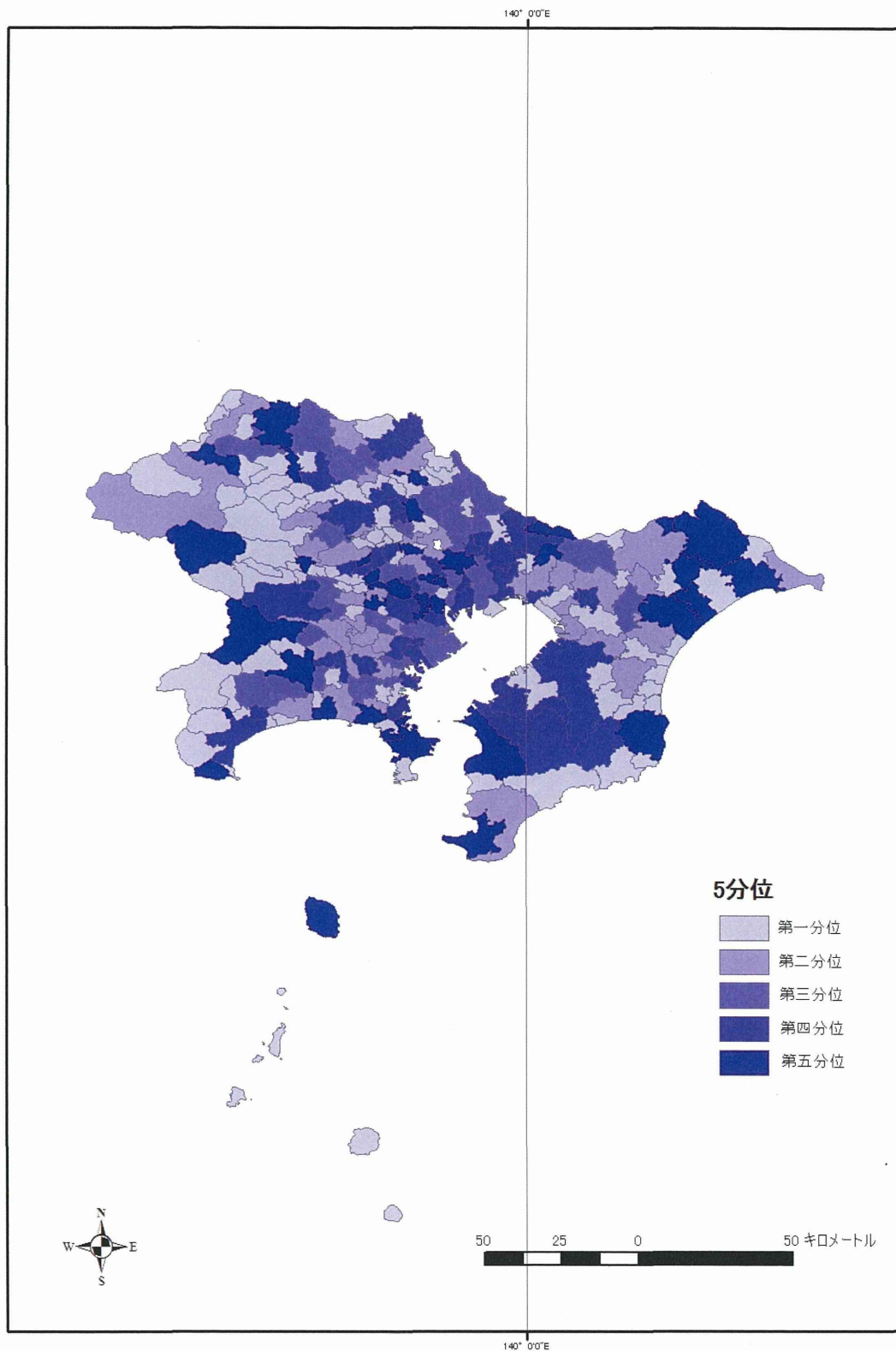


図 23 人口 1000 人あたり訪問看護件数（首都圏、平成 23 年度）

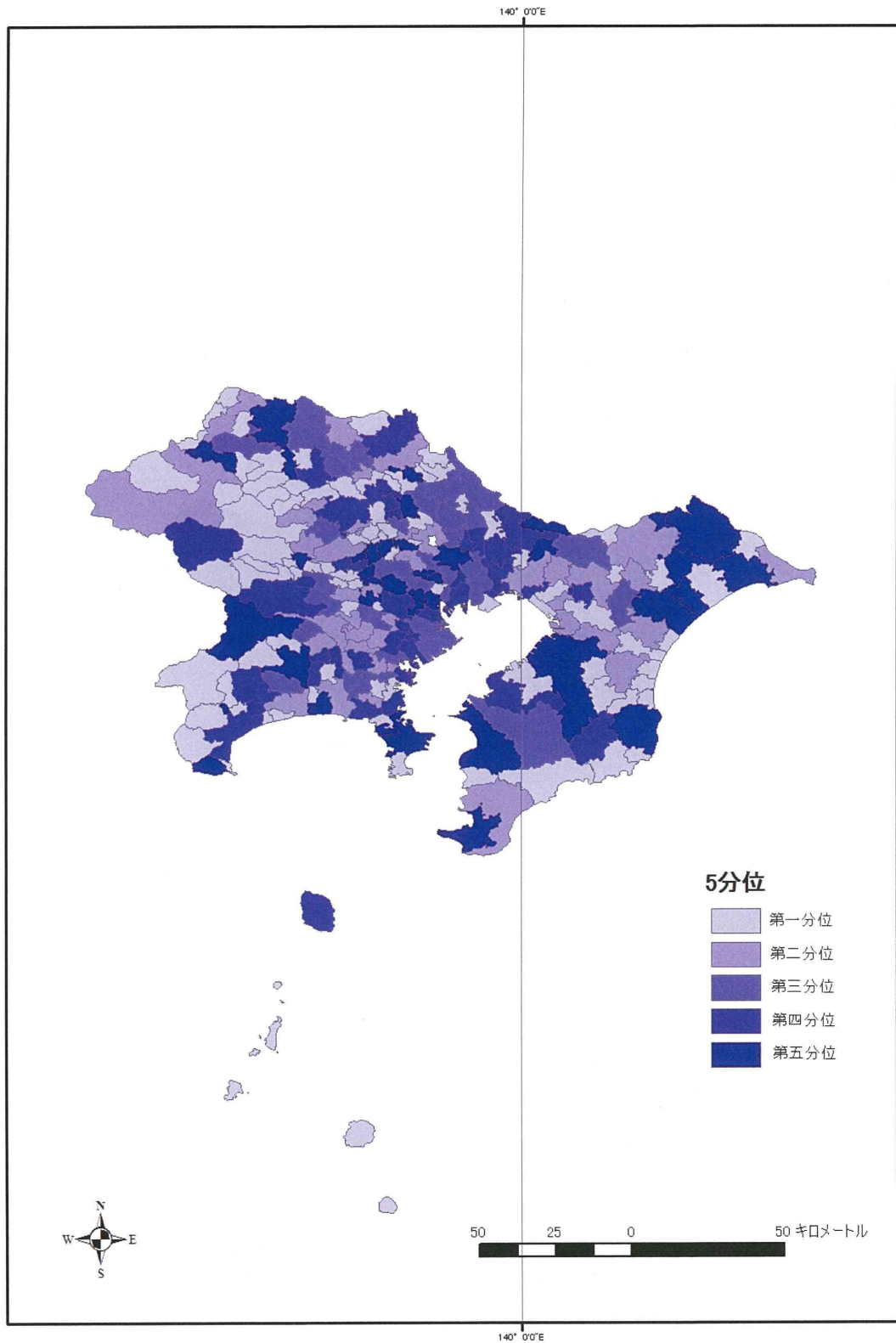


図 24 75歳以上人口1000人あたり訪問看護件数（首都圏、平成23年度）

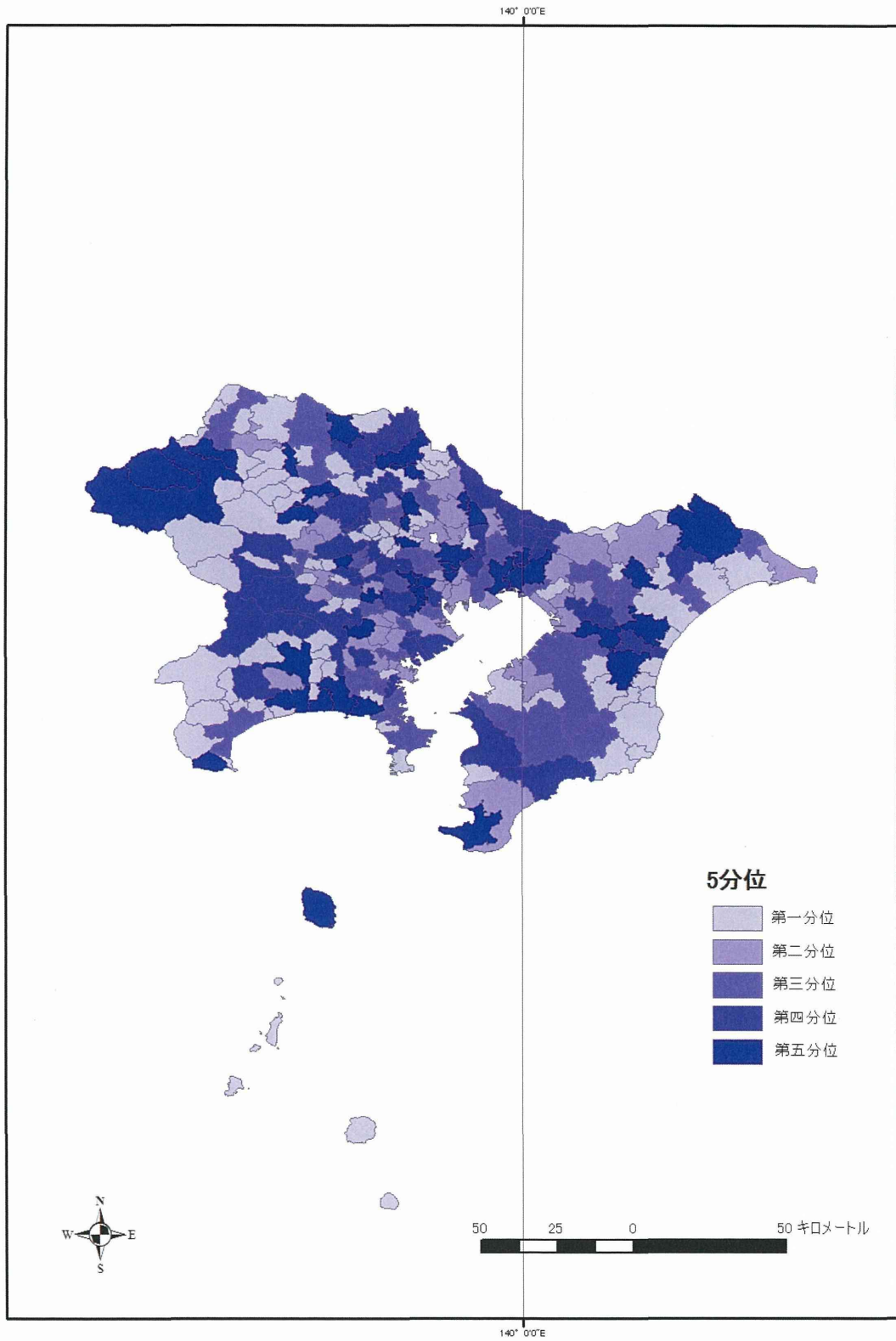


図 25 人口 1000 人あたり訪問リハビリテーション件数（首都圏、平成 23 年度）

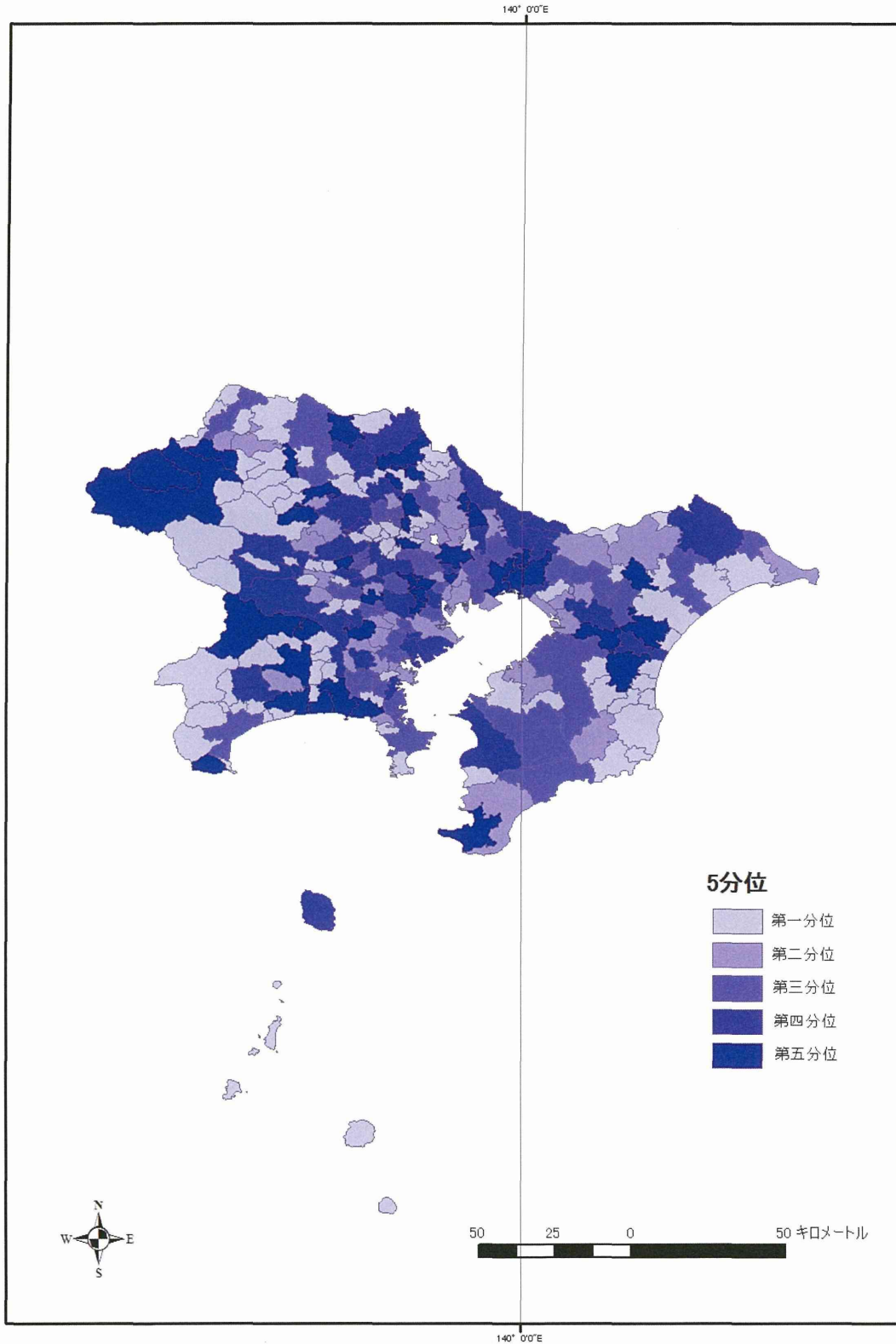


図 26 75歳以上人口1000人あたり訪問リハビリテーション件数（首都圏、平成23年度）

専門医分布の地理的特性に関する研究

研究分担者 河原 和夫 東京医科歯科大学大学院 政策科学分野

研究要旨

本研究は、各専門医の勤務先市町村情報等の住所情報や性・年齢等の属性と既存の二次医療圏の医療資源（人的、物的など）データと患者調査、国勢調査などの人口データなどを組み合わせて、専門医の地理的分布の格差や属性分析を行ったものである。

その結果、二次医療圏単位の専門医の確保状況には大きな格差があり、二次医療圏の設定や評価において専門医の確保の視点が重要であることが本研究により示された。

医師の地域偏在は現在も解消されていない。専門医の偏在も一般医と同じく、いわゆる過疎地が低い分布地域であった。これらの問題については、全国一律に医師を配分することは不可能であることから、隣接する医療圏の人材などの有機的な活用が望ましい。

A. 目的

専門医の地域偏在が指摘されて久しいが、どのような診療科の専門医がいかなる地域で不足を生じているか、といった詳細な状況は不明である。加えて専門医の年齢、性別などの属性もわからないのが実情である。

B. 方法

使用する統計調査

1. 2010 年度医師・歯科医師・薬剤師調査のうちの医師票と 2011 年の医療施設調査のうちの病院に関するデータを分析した。

（倫理的配慮）

東京医科歯科大学医学部倫理審査委員会に書類を提出して審査を受けたところ、倫理審査非該当との回答を得た（受付番号：第 1731 番）。

C. 結果

(1) 診療に従事している医師数と人口 10 万人あたりの診療従事医師数（都道府県別）

2010 年調査では診療に従事している医師は、全国で 27 万 249 人であった。人口 10 万人あたりの医師数は全国で、210 名である。最も少ないのが埼玉県で、140 人、最も多いところは徳島県の 276.6 人であった（表 1）。

表は示していないが、全国市区町村の人口 10 万人あたりの医師数を地図に描いている（図 1-1～1-18）。白色は当該市区町村に医師がいないところである。地図では「白色」で示すが、全国で 24 町村あった。医師が常在する市町村は、その人口 10 万人あたりの医師数が、「1～50 人」「51～100 人」「101～150 人」「151～200 人」「201～250 人」「251～300 人」「301 人以上」に区分し、

医師数が多くなるにつれて色が濃くなっている。手術件数等や放射線診断・治療

機器の設置状況の表についても、同様の色分けをしている。

表1 診療に従事している医師数と人口10万人あたりの診療従事医師数（都道府県別）

都道府県	医師数	人口 平成22年	人口10万人あたりの医師数
北海道	11,646	5,506,419	211.5
青森県	2,465	1,373,339	179.5
岩手県	2,357	1,330,147	177.2
宮城県	4,619	2,348,165	196.7
秋田県	2,132	1,085,997	196.3
山形県	2,368	1,168,924	202.6
福島県	3,617	2,029,064	178.3
茨城県	4,580	2,969,770	154.2
栃木県	4,074	2,007,683	202.9
群馬県	4,017	2,008,068	200.0
埼玉県	10,073	7,194,556	140.0
千葉県	9,993	6,216,289	160.8
東京都	35,570	13,159,388	270.3
神奈川県	16,450	9,048,331	181.8
新潟県	4,097	2,374,450	172.5
富山県	2,365	1,093,247	216.3
石川県	2,841	1,169,788	242.9
福井県	1,790	806,314	222.0
山梨県	1,764	863,075	204.4
長野県	4,313	2,152,449	200.4
岐阜県	3,822	2,080,773	183.7
静岡県	6,740	3,765,007	179.0
愛知県	13,747	7,410,719	185.5
三重県	3,409	1,854,724	183.8
滋賀県	2,735	1,410,777	193.9
京都府	6,871	2,636,092	260.7
大阪府	20,814	8,865,245	234.8
兵庫県	11,741	5,588,133	210.1
奈良県	2,923	1,400,728	208.7
和歌山県	2,540	1,002,198	253.4
鳥取県	1,510	588,667	256.5
島根県	1,726	717,397	240.6
岡山県	5,016	1,945,276	257.9
広島県	6,556	2,860,750	229.2
山口県	3,278	1,451,338	225.9
徳島県	2,173	785,491	276.6
香川県	2,478	995,842	248.8
愛媛県	3,290	1,431,493	229.8
高知県	2,045	764,456	267.5
福岡県	13,170	5,071,968	259.7
佐賀県	2,029	849,788	238.8
長崎県	3,750	1,426,779	262.8
熊本県	4,538	1,817,426	249.7
大分県	2,833	1,196,529	236.8
宮崎県	2,425	1,135,233	213.6
鹿児島県	3,867	1,706,242	226.6
沖縄県	3,092	1,392,818	222.0
合計	270,249	128,057,352	211.0

図 1 - 1 市区町村別の人口 10 万人あたりの医師数（北海道）

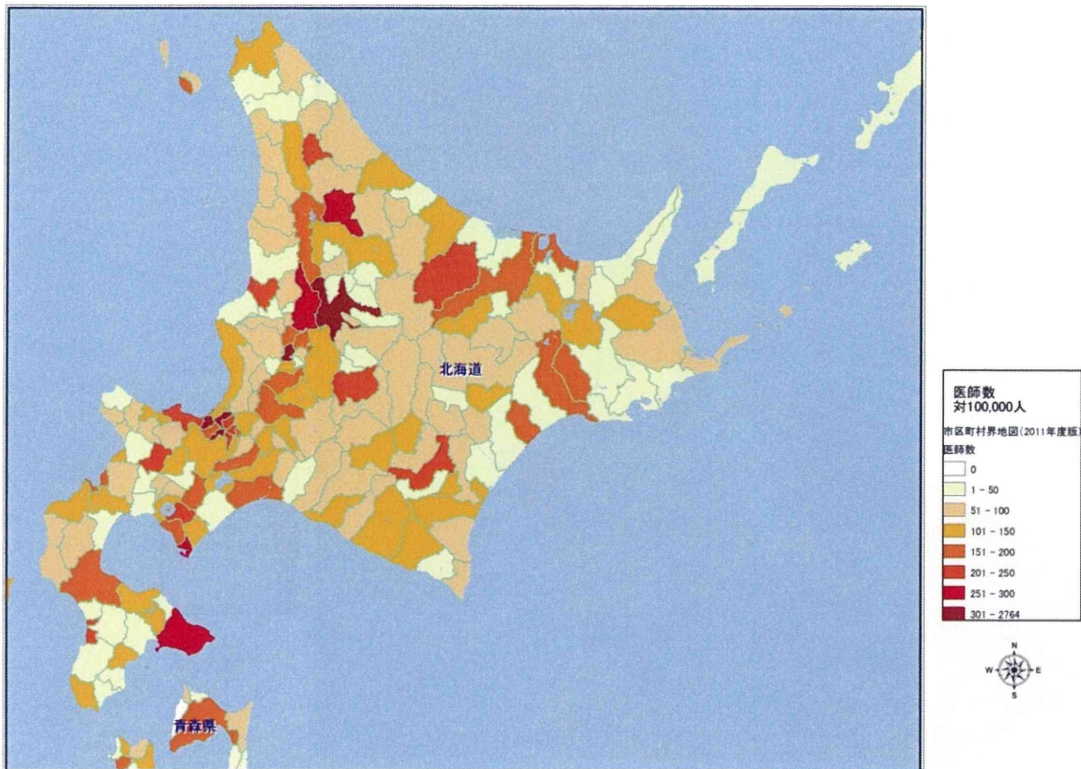


図 1 - 2 市区町村別の人口 10 万人あたりの医師数（北東北）



図1-3 市区町村別の人口10万人あたりの医師数（南東北と信越）

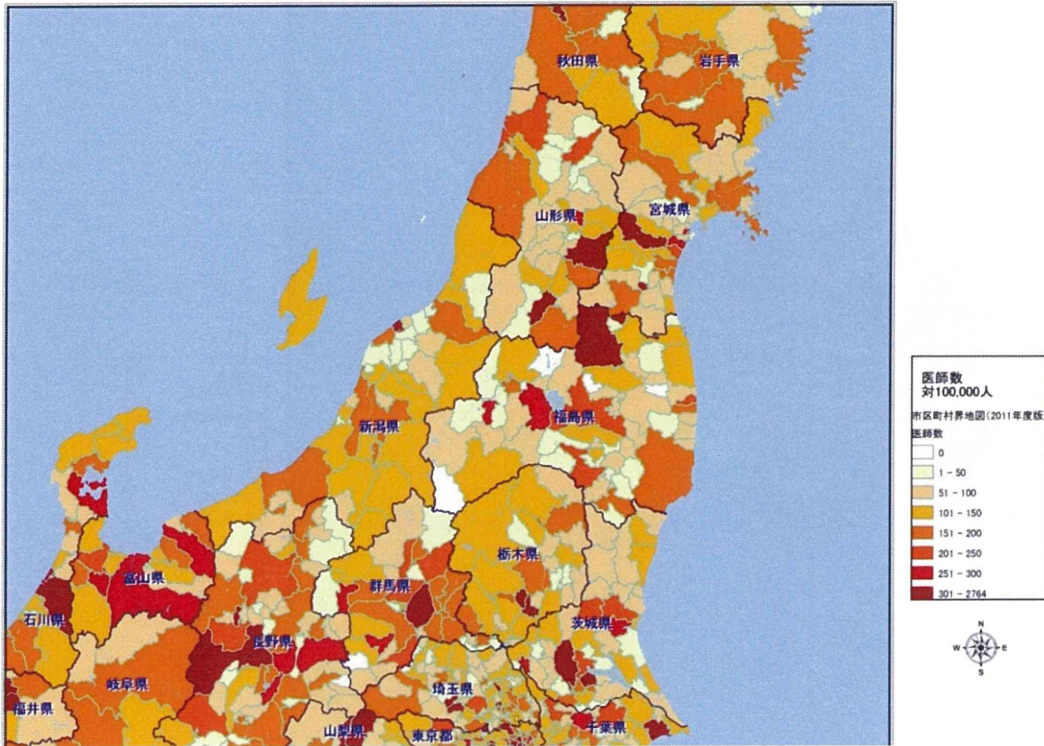


図1-4 市区町村別の人口10万人あたりの医師数（関東甲信越）

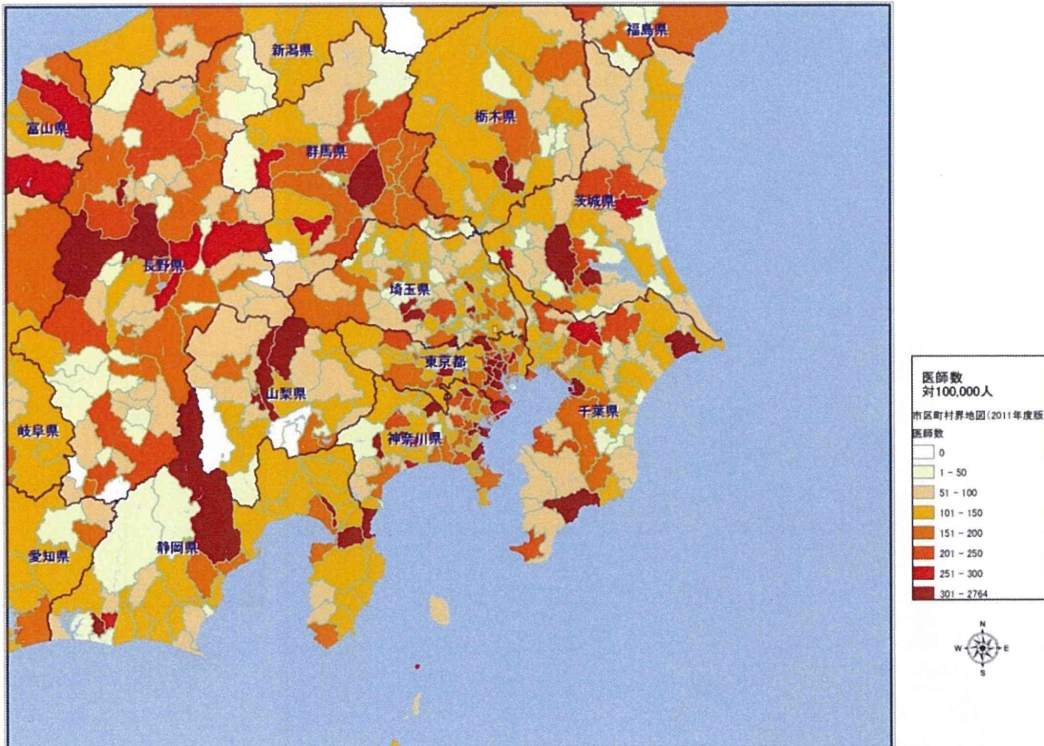


図 1 - 5 市区町村別の人口 10 万人あたりの医師数（茨城県）

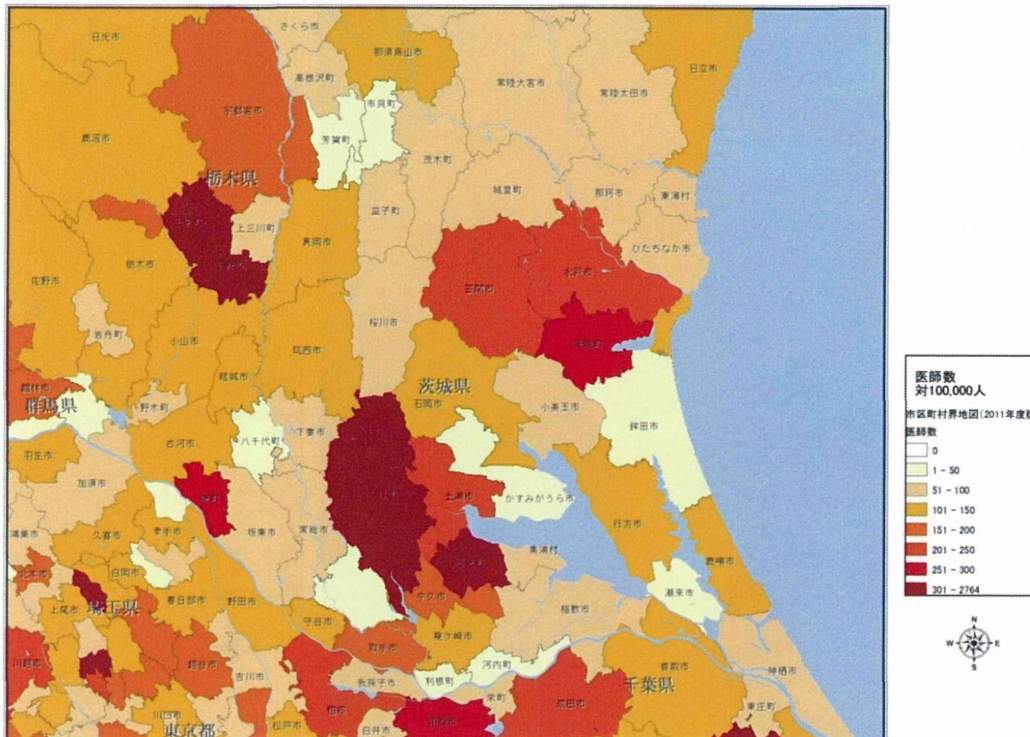


図 1 - 6 市区町村別の人口 10 万人あたりの医師数（埼玉県）

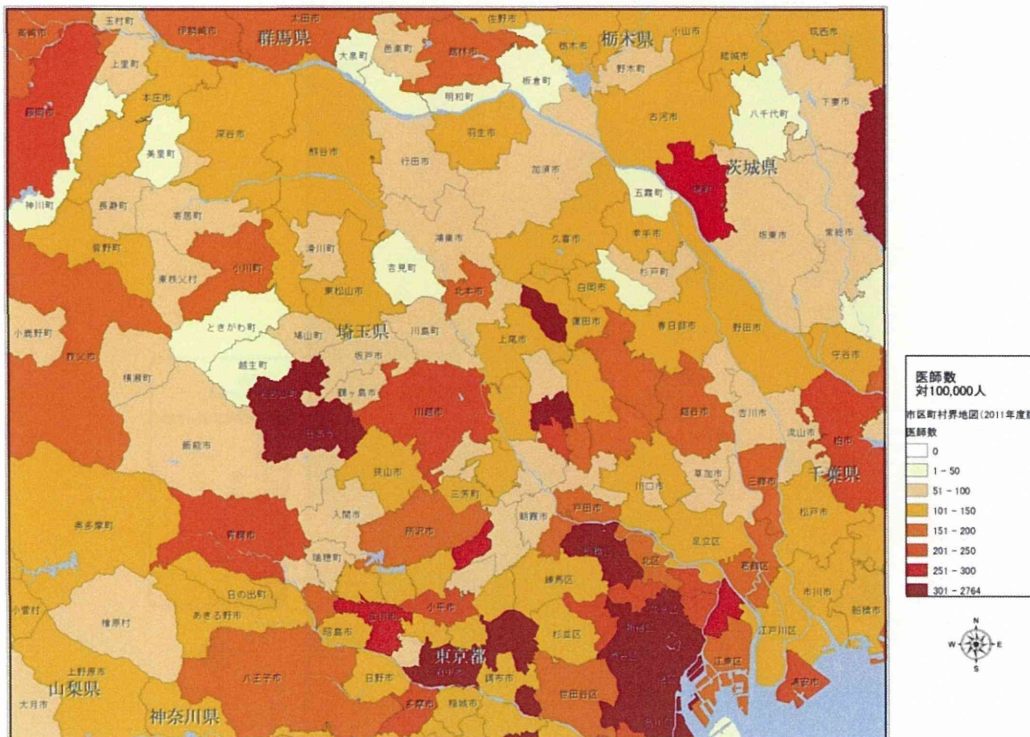


図 1-7 市区町村別の人口 10 万人あたりの医師数（千葉県）

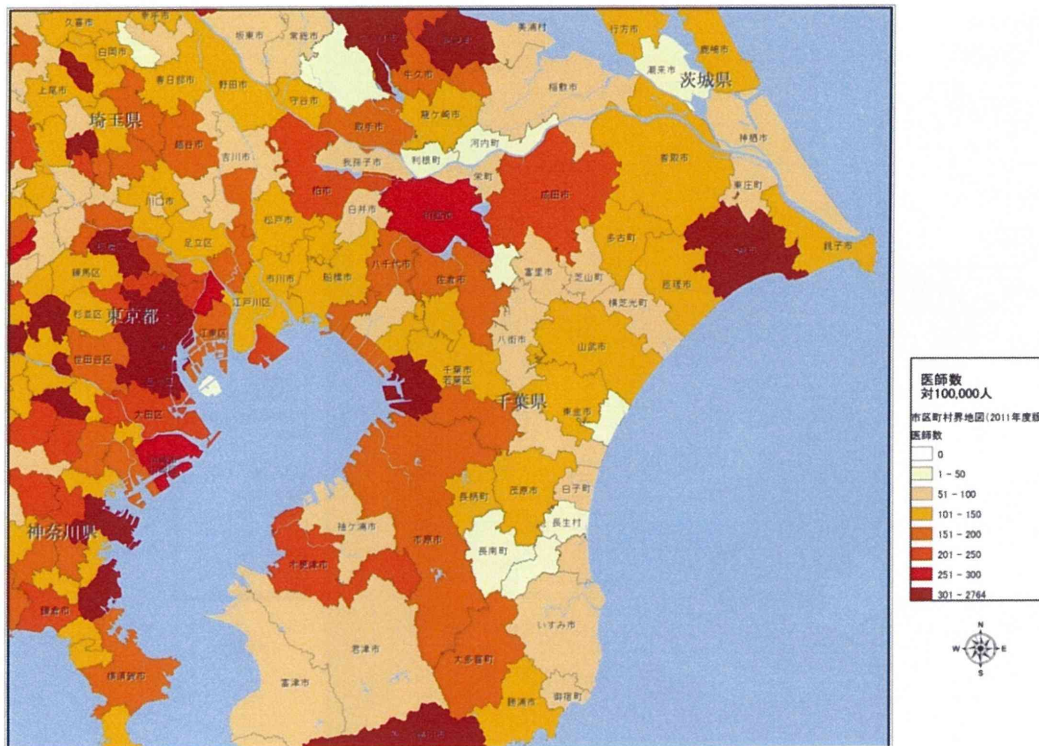


図 1-8 市区町村別の人口 10 万人あたりの医師数（東京都）

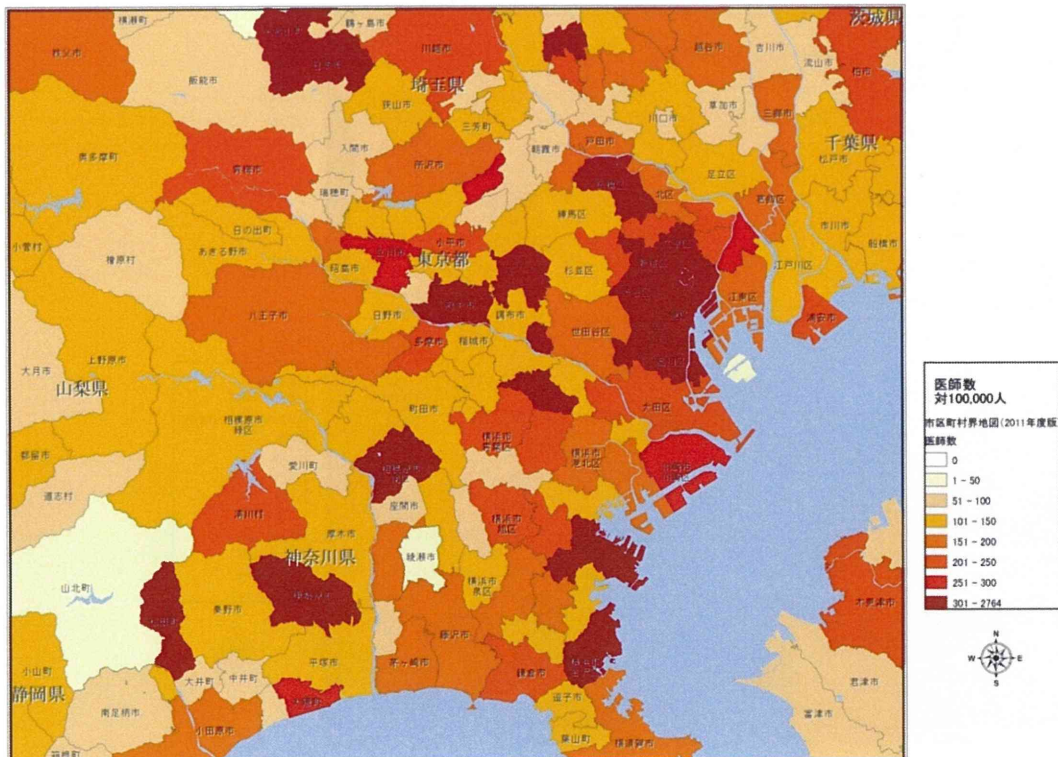


図 1 - 9 市区町村別の人口 10 万人あたりの医師数（東海北陸）

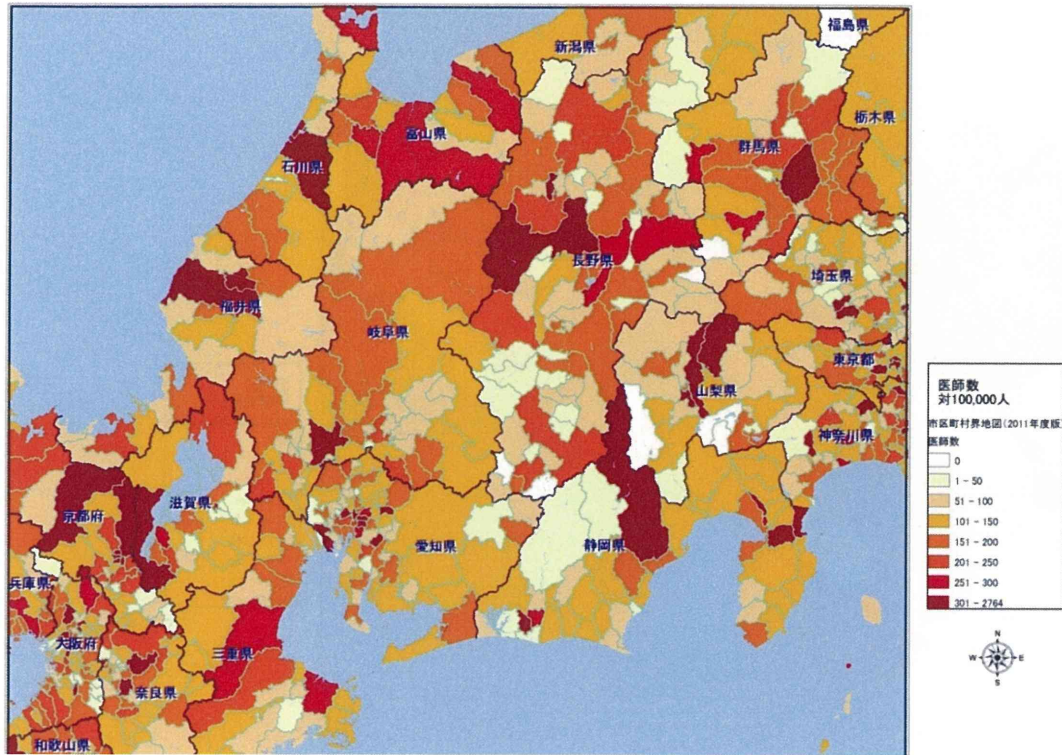


図 1 - 10 市区町村別の人口 10 万人あたりの医師数（愛知県）

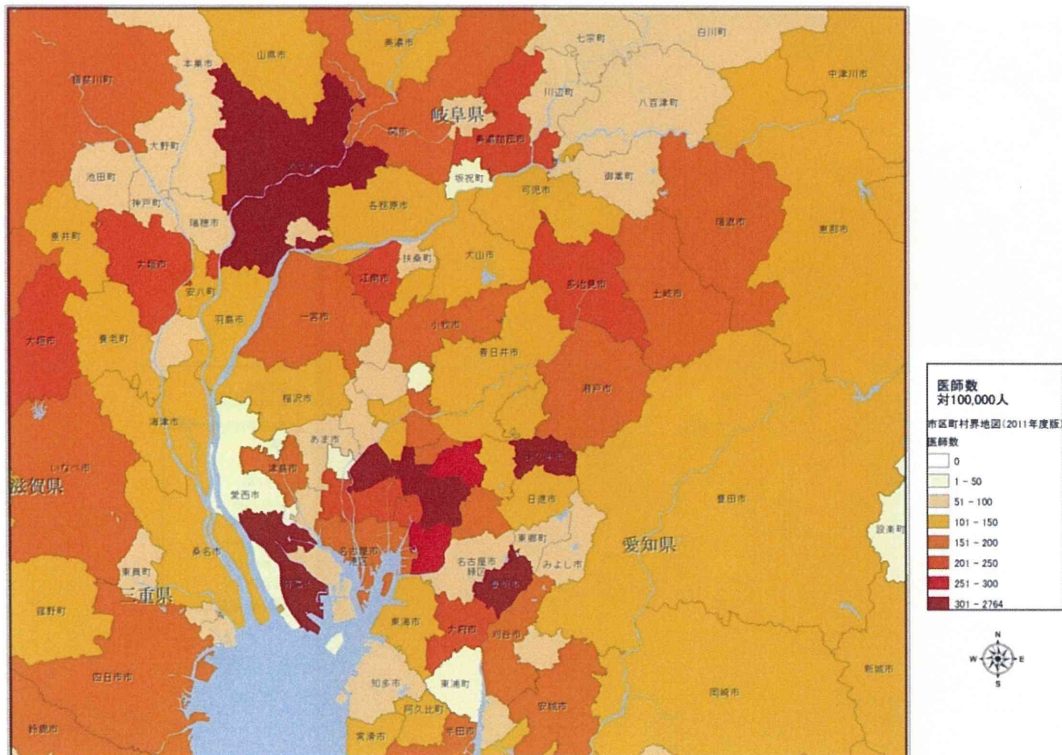


図1-11 市区町村別の人口10万人あたりの医師数（近畿）

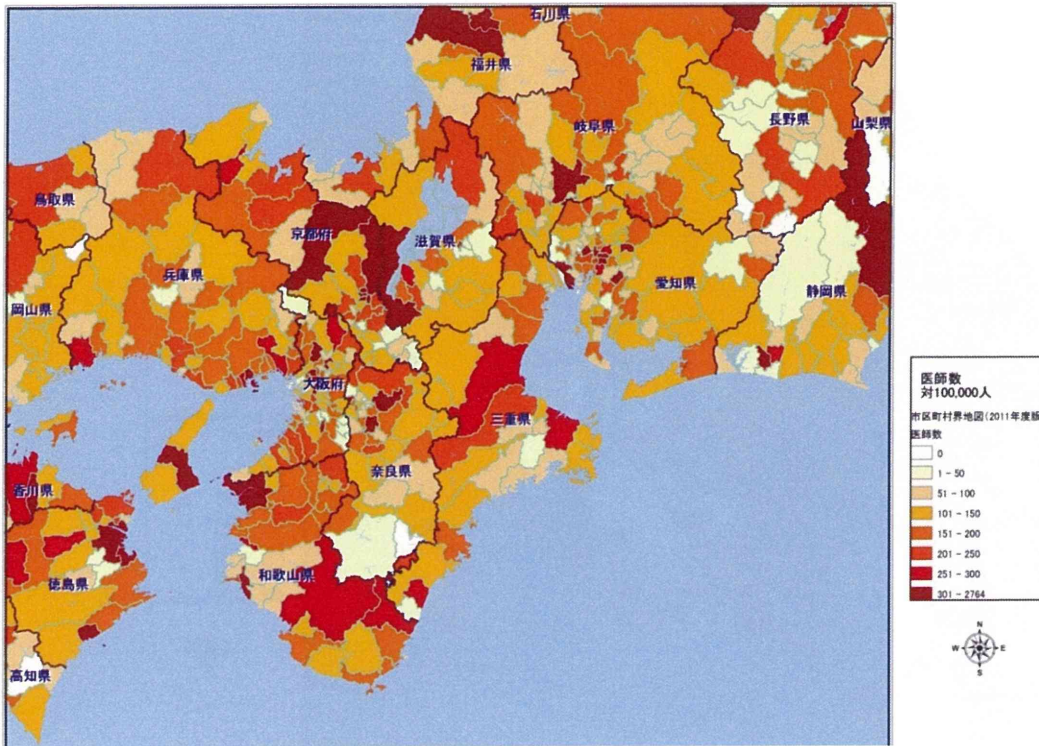


図1-12 市区町村別の人口10万人あたりの医師数（京阪神）

